

## 地域と地球の環境を

## 守りはぐくむまちをめざして

—めぐるからの挑戦—



目黒区では、「目黒区基本構想」の基本理念の一つである「環境と共生する」の実現を目指し、環境施策への取組みを進めてまいりました。

地球温暖化に関する科学的・技術的・社会経済的な評価を行う「気候変動に関する政府間パネル」（IPCC）の第5次評価報告書においては、「継続的な温室効果ガスの排出は地球環境全体に影響を及ぼすものであり、気候変動を抑制するためには排出量を大幅かつ持続的に削減する必要がある」と指摘されています。

今年12月に、フランスのパリで開催される気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）では、2020（平成32）年以降の「京都議定書に代わる新しい国際的な地球温暖化対策の枠組み」を決めることになっています。

これを受け、国は温室効果ガスを2030（平成42）年度に2013（平成25）年度比26%削減する目標を正式決定し、国連に提出したところです。

温室効果ガスのひとつである二酸化炭素排出量の削減にあたっては、今後、各国で削減努力を求められることとなりますが、区では2014（平成26）年に「目黒区地球温暖化対策地域推進計画」を改定し、区全域の温室効果ガス削減目標を定めています。

また、区民、事業者、区が一体となって地球温暖化対策の具体的取組みを推進していくため、2015（平成27）年4月からは「環境にやさしい行動を賢く選択する暮らし方」を「めぐるスマートライフ」と名付け、毎日の生活の中で地球温暖化対策の具体的取組みに役立つような情報を発信しています。区民の皆さんも、環境にやさしいライフスタイルへの転換にご協力いただきたいと思っております。

この報告書は、目黒区環境基本計画に基づき、2014（平成26）年度に実施した施策の報告書として作成しました。多くの方に読んでいただけるよう、概要版の作成やホームページへの掲載も行なっておりますので、併せてご活用ください。

今後とも、目黒区の環境問題への取組みについて、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

2015（平成27）年9月

目黒区長 青木英二

# 2015（平成27）年度版めぐろの環境（環境報告書）

## 目次

### はじめに

1 編集方針.....	1
2 目黒区環境基本計画.....	1
3 本編の見方.....	4

### 第1章 2014（平成26）年度の主な取組み

1 地球温暖化・省エネルギー対策の推進.....	5
2 みどりに関する多様な取組み.....	6
3 環境学習の推進.....	8
4 循環型社会の形成に向けて.....	9

### 第2章 環境保全施策の推進

基本目標1 良好な生活環境を守りはぐくむ.....	10
1-1 きれいな空気と水辺のあるまちで暮らす.....	10
1-2 みどりあふれるまちで暮らす.....	21
1-3 安らぎのあるまちをつくる.....	27
基本目標2 ライフスタイルの転換で環境を守りはぐくむ.....	30
2-1 ものを大切にす地域社会をめざす.....	30
2-2 地球にやさしい地域社会をつくる.....	37
基本目標3 環境を守りはぐくむ人づくり.....	42
3-1 人を育てて行動を促す.....	42
3-2 人のつながりを育てる.....	52

### 第3章 重点プロジェクトの実施

1 地形・地勢を意識した風とみどりと生き物のネットワークづくり.....	57
2 節電からはじめるライフスタイルの転換.....	59
3 地球温暖化対策の推進.....	61

### 第4章 目黒区環境マネジメントシステムの取組み

目黒区地球温暖化対策推進第二次実行計画（めぐろエコ・プランⅡ）.....	63
2014（平成26）年度の取組み結果.....	64
2014（平成26）年度の取組み結果に対する評価.....	67

### 資料編

アンケート調査の概要.....	70
アンケート調査のまとめ.....	71
アンケート調査の結果.....	72
環境に関するアンケート調査票.....	101
環境行政をめぐる動き.....	107
環境保全の施策に要した主な経費.....	109

# はじめに

## 1 編集方針

目黒区では、区の環境保全の基本的考え方を明らかにし、環境施策を総合的かつ計画的に進めることを目的として、2000（平成12）年12月に「目黒区環境基本条例」を制定しました。この条例に基づき、2002（平成14）年7月に「目黒区環境基本計画」を策定し、区の環境に関する長期的目標とその実現に向けた施策の基本方針等を定めました。また、2007（平成19）年7月と2012（平成24）年3月に改定を行いました。

「めぐろの環境（環境報告書）」は、「目黒区環境基本条例」第9条の規定に基づき、環境の状況や環境の保全に関する施策の実施状況及び評価等を明らかにするもので、毎年作成しています。

2014（平成26）年度版の「めぐろの環境（環境報告書）」は、2012（平成24）年3月に改定した目黒区環境基本計画の体系に基づき、2014（平成26）年度に実施した環境保全施策のほか、2015（平成27）年度に実施する環境保全施策を掲載しています。このほか、目黒区環境マネジメントシステムの取組み実績も掲載しています。

## 2 目黒区環境基本計画

環境に関する長期目標、その実現に向けた施策の方向、行動の指針、計画推進のしくみ等を明らかにすることを目的に、2002（平成14）年7月に策定しました。その後、地球温暖化の防止や環境学習の推進等の新しい課題に対応するため2007（平成19）年7月に改定しました。

この間、国では温室効果ガス削減強化の取組みや、生物の多様性を確保し、そのもたらす恵沢を将来にわたり享受できることを目的とした「生物多様性基本法」が制定されるなど、環境行政を取り巻く状況に大きな変化がありました。加えて、2011（平成23）年3月の東日本大震災の発生により安心安全への区民の関心が高まるとともに、放射性物質対策や節電への啓発、再生可能エネルギー<sup>1</sup>の普及など、環境負荷低減への取組みがより一層求められるようになりました。

このような社会経済状況の中、新たな課題に柔軟に対応していくため、2012（平成24）年3月に再び改定を行いました。



### 2012 （平成24）年 計画改定時の ポイント

- 施策体系の見直しを行いました
- 計画の達成状況を把握するための指標や数値目標を導入しました
- 区民、事業者との協働による環境保全活動を推進するための計画としました

<sup>1</sup> 再生可能エネルギー：資源が非枯渇性の自然現象から得られるエネルギーのことです。代表的なものに、太陽光発電、太陽熱利用、風力発電、小規模水力発電、バイオマスエネルギー等があります。

● 目指すべき環境像

区の長期計画である「目黒区基本構想」（2000（平成12）年10月策定）で、「環境と共生する」ことを基本理念の1つとしています。さらに、環境分野に関連する基本目標として「環境に配慮した安全で快適なまち」を掲げています。

この目標を踏まえ、「地域と地球の環境を守りはぐくむまち—めぐろからの挑戦—」を目指すべき環境像として定め、環境面からのまちづくりの推進を図ります。

● 対象範囲

本報告書は、環境基本計画に基づき、次の分野を対象範囲としています。

環境分野	施策の対象となる環境項目
自然環境	水辺、みどり、生物等
生活環境	大気、水、土壌、地盤、騒音、振動、臭い、化学物質（放射性物質含む）、水循環、廃棄物・資源、日照阻害、電波障害等
都市環境	交通、道路、公園、緑地、歴史的・文化的資源、市街地整備等
地球環境	地球温暖化、生物多様性、その他地球環境問題（オゾン層の破壊、森林の減少、野生生物の減少、天然資源の枯渇等）

● 基本目標

目指すべき環境像「地域と地球の環境を守りはぐくむまち」の実現に向け、次の3つの基本目標を中心に組みます。

- ・基本目標1 良好な生活環境を守りはぐくむ
- ・基本目標2 ライフスタイルの転換で環境を守りはぐくむ
- ・基本目標3 環境を守りはぐくむ人づくり



● 重点プロジェクト

目黒区の地域特性や環境の課題等を踏まえ、計画の目標を達成する上で、優先して展開するテーマを重点プロジェクトとして位置づけ、推進していきます。

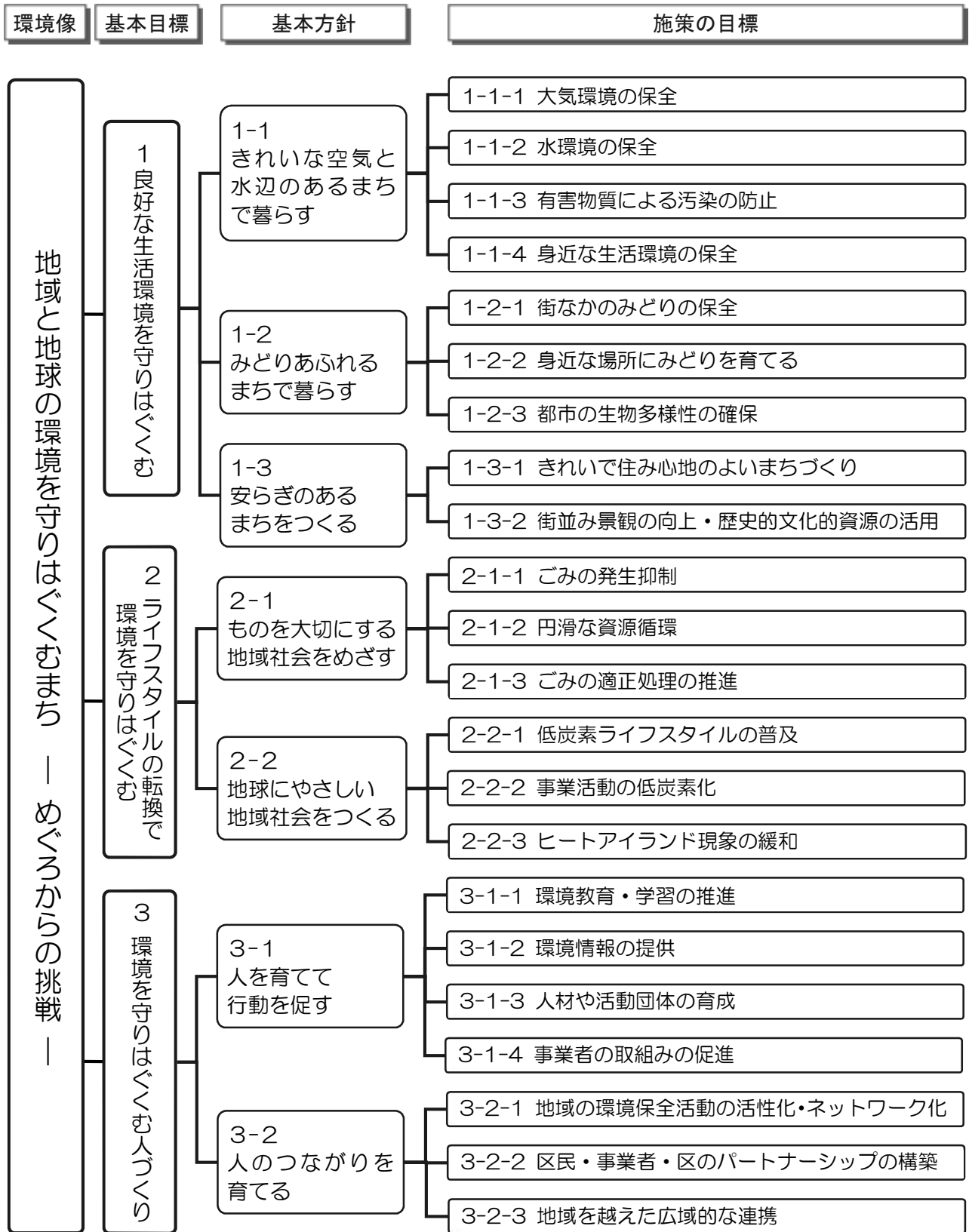


- 区の重点プロジェクト
- テーマ1 地形・地勢を意識した風とみどりと生き物のネットワークづくり
  - テーマ2 節電からはじめるライフスタイルの転換
  - テーマ3 地球温暖化対策の推進

● 目黒区環境基本計画の体系

目指すべき環境像及び基本目標を踏まえた環境保全施策の体系を下図に示します。

目黒区環境基本計画の体系図



### 3 本編の見方

#### (1) 指標の評価について

目黒区環境基本計画の進行管理を行うため、施策の基本方針ごとに指標を設け、指標について評価をしています。

**見 本**

<指標の評価>

☺: 目標値を達成 ☹: 目標値に近づいている ☹☹: 目標値に近づいていない —: 現状値を把握していない

指標項目	環境指標 取組指標	基準 年度	基準年度末 時点実績値	2014 (平成26) 年度末実績値	2021 (平成33)年度 数値目標 (目指す方向)	評価
<b>みどりの量</b>						
緑被率 <sup>※1</sup>		15	17.1%	17.3%	20% 2015 (平成27)年度	☹
公園・ひろば等の面積		22	49.01ha	50.05ha	52ha	☹
<b>みどりの質</b>						
公園等で活動を行う登録 団体数 <sup>※2</sup>		22	91団体	109団体	100団体	☺
指標在来生物種の分布率		22	37%	42%	50%	☹
<b>みどりのまちなみ助成緑化面積・延長(累計値)</b>						
接道		22	9,581.12m	10,226.43m	増加	☺
屋上		22	3,726.55m <sup>2</sup>	4,741.56m <sup>2</sup>		
壁面		22	414.67m <sup>2</sup>	476.85m <sup>2</sup>		
いぎもの気象台情報提供数		22	1,695件	2,624件	増加	☺
いぎもの発見隊実施回数 /参加人数		22	2回/134人	2回/47人	継続	☺
野鳥の年間確認種数 <sup>※3</sup>		22	52種	50種	維持	☹

※1 緑被率：一定区域の中で上空から見て草や樹冠などで緑が覆われた面積が占める割合。水面や広場を含まない  
樹幹な植物の緑が対象。

※2 公園活動登録団体とグリーンクラブ

※3 1～12月での累計

① 指標項目を掲載し、太線より上部は環境指標、下部は取組指標を示しています。累計で評価する項目は、指標項目末尾に「(累計値)」と表示しています。また、基本方針によっては、環境指標、取組指標のいずれかしかない場合があります。

② 表中の補足説明を記載しています。

③ 区としての自己評価を顔マークで記載しています。環境指標は顔マークで3段階、取組指標は顔マークで2段階の評価をしています。

①：指標項目を掲載し、太線より上部は環境指標、下部は取組指標を示しています。累計で評価する項目は、指標項目末尾に「(累計値)」と表示しています。また、基本方針によっては、環境指標、取組指標のいずれかしかない場合があります。

- ・環境指標：数値目標を設定している指標
- ・取組指標：数値目標を設定せず、目指す方向を設定している指標

②：表中の補足説明を記載しています。

③：区としての自己評価を顔マークで記載しています。環境指標は顔マークで3段階、取組指標は顔マークで2段階の評価をしています。

#### <指標の評価の見方>

評価	評価内容	
	環境指標	取組指標
☺	目標値を達成している	目指す方向を達成している
☹	目標値を達成していないが、 目標値に近づいている	
☹☹	目標値を達成しておらず、 目標値に近づいていない	目指す方向を達成していない
—	現状値等の把握ができない	

#### (2) コラム等について

本編中にコラムやトピックスを掲載し、グラフや表の補足説明には各種キャラクターを使用しています。また区ホームページ等でより詳細な内容を閲覧できる箇所には、**WEB** マークを記載しています。